

令和7年度「地域と学校の連携・協働体制構築事業」実績報告関係様式

都道府県名	09 栃木県
市区町村名	09203栃木市
自治体区分	

●R7年度に本事業で重点的に取り組む課題に応じた目標等の設定様式

実施自治体名	課題の類型1	課題の類型2	背景・現状・課題の詳細	左記課題の解決のために令和7年度に実施する具体的な取組	左記具体的な取組のうち、令和6年度における取組の評価・分析を踏まえた取組	本事業で達成する目標（アウトカム）	目標の達成度を測る指標	現状の数	単位	本年度の目標値	本年度の実績値	アウトカムの達成度に関する評価・分析（事業における成果、課題、改善点等）	目標等の公表先
09203栃木市	②学校と地域の課題	03 学校支援ボランティアの確保・育成	教職員の業務改善を推進できるよう、学校支援ボランティアの導入に力を入れて活動しているが、支援者の高齢化とともにその確保が難しくなっている。	保護者等若い世代の学校支援ボランティアへの参加につながる取組として、ボランティア交流会を開催し、教職員、地域コーディネーター、学校支援ボランティアに加えてPTAにも参加してもらう。。また、PTAの総会や研修会に担当職員が出向き、事業の説明を行う。	学校側のニーズとボランティア側のニーズにずれがあることがあったため、活動における両者のニーズのすり合わせを行う。	学校支援ボランティア参加者に保護者等の若い世代が増え、学校支援ボランティアの人材確保ができるとともに、教職員の業務軽減ができる。	学校支援ボランティアのうち、保護者の人数が7,000人以上。	0	人	7000	6794	本年度の保護者ボランティア数は6,794人であり、目標の7,000人には届かなかったものの、多くの保護者の参加があり、学校支援体制は概ね維持されている。 一方で、参加が学校行事等に偏る傾向や、平日の活動への参加が難しいなどの課題も見られる。今後は、学校やPTA、地域コーディネーターを通じた活動の周知や、短時間でも参加できる活動の設定など、保護者が参加しやすい環境づくりを進め、若い世代の参加拡大と教職員の業務軽減につなげていく必要がある。	https://www.city.tochigi.lg.jp/uploaded/attachment/67589.pdf

※行が足りない場合は、非表示になっている行を再表示してください。